

平成27年度、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会 小中学生作文展

小学生の部 講評:屋久島森林生態系保全センター 所長 山下義治さんより

賞	名前	講評
最優秀賞	宮浦小5年生 田中 優太朗さん	「ヤクスギランド」 宿泊学習でヤクスギランドに行き、「ヤクスギランドはすごい所だったよ。おもしろかったよ。」と書いています。本当に感動したんだと言うことが良く表現されています。お母さんが、「今度いっしょに行こうね。」と言うと「じゃあ案内してあげる。」と言っています。ヤクスギランドの素晴らしさをお母さんに伝えたいという素直な気持ちが伝わってきます。ヤクスギランドの風景も詳しく説明してあり、感想や不思議に思ったことが書いてあります。今度は、不思議に思ったことを色々調べてみて下さい。
優秀賞	宮浦小2年生 山の口 ゆう大さん	「ウミガメのさんらん」 友達と何時間もウミガメが現れるのを眠くなりながらも待っていて、ウミガメの産卵を見られた時の感動が「ガンバレー」という文章から伝わってきます。ウミガメの卵をピンポン球、卵の落ちる音を「ポトツ、ポトツ」と、産卵の様子が工夫して表現してあります。新しい命が誕生し、海に帰っていくのが楽しみですね。
優秀賞	永田小6年生 藤條 玉葉さん	「島は教えてくれる」 都会は便利で楽しい所。しかし、日常の生活で見える永田岳が見えないこと。また、小さい頃からの色々な経験で、屋久島のことが好きなんだと言うことが伝わってきます。屋久島の様々な場所から、自然の雄大さ、強さ、また、自然の美しさだけではなく恐ろしさをも屋久島の自然から感じ取り、大切な場所であることに気づいています。この屋久島の自然を残していくために色々な活動をして下さい。期待しています。
奨励賞	安房小1年生 たかみ かんたさん	「やくすぎらんどでびくにつく」 「しかやさるにきにいってもらえるようにいちばんすてきなふくでいきました。」と書いてあります。かんた君が、ヤクスギランドのピクニックを本当に楽しみにしていたのが伝わってきます。身体で感じたこと、手で触れ感じたことを素直に表現しています。これから何回もヤクスギランドに行って色々な発見をして下さい。
奨励賞	神山小3年生 日高 駿太郎さん	「森の大切さ」 木が水をすいこみ、空気をきれいにしたり、紙、鉛筆、家の材料に使われるなどよく勉強しています。聴診器で木の音を聞いた時の驚きや、ヤクスギランドの様子などから森の大切を理解していることが伝わってきます。駿太郎君が名前をつけた屋久杉の「ぼこちゃん」はどうなっているのでしょうか。見てみたくなりました。
奨励賞	宮浦小4年生 岩廣 瞳さん	「屋久島の自然にふれて」 ヤクスギランドを歩きながら、不思議に思ったことの原因をちゃんと調べています。また、理由を知り驚いた様子が伝わってきます。森の中で、サルやシカと出会いおいしい水を飲み自然の美しさに感動し、屋久島に生まれ育ったことに感謝しています。これから、屋久島の色々な所に出かけてもっともっと屋久島を好きになって下さい。
奨励賞	永田小5年生 田中 美海さん	「縄文杉に行って学んだこと」 縄文杉までの山登りの大変な様子が、「足がパンパン」という文章からも判ります。ウイソク株から縄文杉までの急な登り坂を苦労して上り、見上げた縄文杉の大きさ、迫力に感動し、縄文杉まで到達した達成感が表現されています。これから屋久島の山々にたくさん登り、自然の大切さを理解し体験して下さい。
奨励賞	神山小6年生 黒川 陽菜乃さん	「霧の白谷雲水峡」 白く深い霧の中、周りの景色も見えない白谷雲水峡で、流れ水の音から様々なことを感じ取り、水の大切さを理解しています。今度は、天気の良い日に白谷雲水峡に行ってみて下さい。清く流れる水を見たり、森の中を歩き、また新しい感動があるはずですよ。

奨励賞	永田小6年生 七里 太音さん	<p>「滝と友達のメッセージ」</p> <p>これまで何回も行って知っていた大川の滝が、雨で水量が増え今までに見たことが無い様子を、竜にたとえその迫力を表現しています。</p> <p>1人では無く、友達と一緒に体感し、友達に感謝し自然の神秘に感動しています。これから友達と屋久島で色々な経験をして下さい。</p>
奨励賞	永田小6年生 辻本 啓能さん	<p>「大切な自分の『家族』」</p> <p>太忠岳登山から、喜びを知り、自信につながり、達成感を味わえたことは、大変貴重な体験が出来ました。屋久島は、幻想的で神秘的な自然豊かな島です。</p> <p>屋久島の自然から、自然を大切な家族として捉え、守っていくべきものと思う考え方は大変すばらしいと思います。屋久島の自然を家族と思い大切にして下さい。</p>
奨励賞	永田小6年生 中嶋 麗さん	<p>「人と自然」</p> <p>紀元杉について、大変詳しく勉強しています。またヤマグルマについても詳しく調べていることが文章からも判り、屋久島の自然についてしっかり勉強していることが想像できます。</p> <p>人間は、自然を壊してはいけません。屋久島が世界自然遺産であり、自然を大切にしていることに感動し、壊してはいけないものだとして良く理解しています。</p>
奨励賞	神山小6年生 中原 未晴さん	<p>「自然溢れる屋久杉ランド」</p> <p>屋久島は、世界一の島だ。と感じていることが文章からも判ります。音、色、匂い、動物など感じる物すべてから、屋久島の素晴らしさが伝わってきます。</p> <p>屋久杉ランドの様子が、目に見えるように表現されています。屋久杉ランドに行ってみたい。そう思わせる作文です。</p>

平成27年度、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会 小中学生作文展  
 中学生の部 講評:屋久島森林生態系保全センター 所長 山下義治さんより

賞	名前	講評
最優秀賞	中央中学校2年 岩川 千尋さん	<p>「目の前にある自然と向き合う」</p> <p>屋久島ジュニア検定に合格して以降、屋久島に興味を持ち、学ぶことで多くのことを吸収し、自然を守るためにどのようなことを実践すれば良いのかを考え、提案する積極的な姿勢が伝わります。</p> <p>このような姿勢や考えが島民1人1人に浸透するよう多くの中学生が活動されることを願っています。</p>
優秀賞	中央中学校2年 藤村 嵐士さん	<p>「白谷雲水峡」</p> <p>屋久島の素晴らしい自然を守るためにやるべきこと、また、世界自然遺産に登録されるほど素晴らしい屋久島の自然を守ってきた人たちに思いをはせ、屋久島について深く学ぶことへの思いが伝わってきます。</p> <p>白谷雲水峡の情景も判りやすく表現してあります。</p>
奨励賞	中央中学校2年 真邊 洋平さん	<p>「屋久島レクリエーションの森」</p> <p>屋久島のことをよく調べ勉強していることが判ります。お父さんを、ガイドという仕事を通し尊敬していることは素晴らしいことです。</p> <p>屋久島の自然を残すために、どのようにしたら良いか考えることに気づいています。気づきから、行動を起こして下さい。</p> <p>期待しています。</p>